

■コメント

1. RSウイルス感染症

小児科定点からのRSウイルス感染症の報告数は定点当たり1.29人と、再び増加しました。

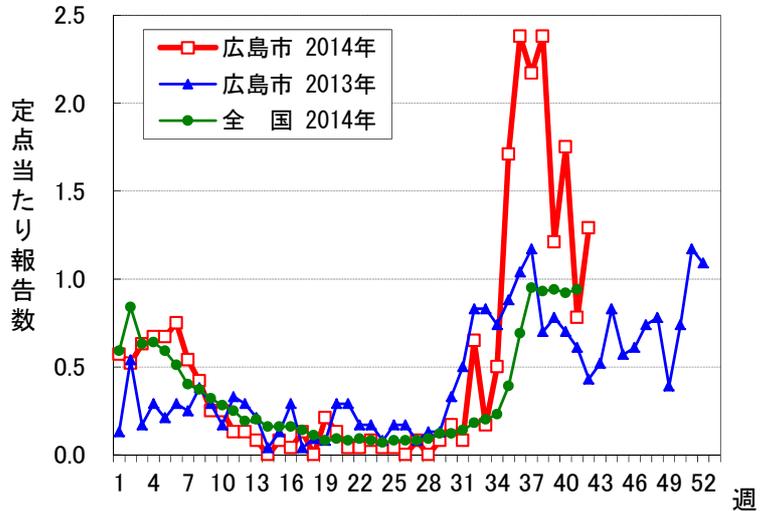
今年の患者を年齢別で見ると、0歳児が31.7%、1歳児が43.1%を占めています。

この疾患は年齢が低いほど重症化しやすく、肺炎や気管支炎、呼吸困難を引き起こすことがあるため、特に乳幼児は早めに医療機関を受診することをお勧めします。

2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり報告数は1.92人と、例年同時期と比較して多い状態が続いており、注意が必要です。

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減状況		
												急増減	増減	微増減
フィリ	インフルエンザ	1	0.03	2.25		小児科	流行性耳下腺炎	25	1.04	0.59		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	5	0.21	0.22		眼科	RSウイルス感染症	31	1.29	0.42	↑	増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	1.92	0.64	↔		急性出血性結膜炎	-	-	-		微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	73	3.04	3.49	↔		流行性角結膜炎	6	0.75	0.43		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	13	0.54	0.70		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	手足口病	6	0.25	0.54	↓		無菌性髄膜炎	-	-	0.09				
	伝染性紅斑	-	-	0.11			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34				
	突発性発しん	12	0.50	0.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	百日咳	1	0.04	0.20			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.07										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	13	147	男性(30歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、男性(40歳代)・4人、男性(50歳代)・3人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、男性(90歳代)・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第38週 第39週 第40週 第41週 第42週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
報告数	広島市	第38週	-	6	30	59	17	20	-	10	1	9	17	57	1	13	-	-	2	-	-	-	-
		第39週	6	4	42	70	16	16	-	9	2	3	18	29	-	10	-	-	-	-	-	-	-
		第40週	1	9	45	64	16	24	-	12	-	3	19	42	1	13	-	-	-	-	-	-	-
		第41週	-	7	44	69	14	17	-	11	1	4	18	18	-	6	-	-	-	-	-	-	-
		第42週	1	5	46	73	13	6	-	12	1	4	25	31	-	6	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第38週	-	0.25	1.25	2.46	0.71	0.83	-	0.42	0.04	0.38	0.71	2.38	0.13	1.63	-	-	0.29	-	-	-	-
		第39週	0.16	0.17	1.75	2.92	0.67	0.67	-	0.38	0.08	0.13	0.75	1.21	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-
		第40週	0.03	0.38	1.88	2.67	0.67	1.00	-	0.50	-	0.13	0.79	1.75	0.13	1.63	-	-	-	-	-	-	-
		第41週	-	0.30	1.91	3.00	0.61	0.74	-	0.48	0.04	0.17	0.78	0.78	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
		第42週	0.03	0.21	1.92	3.04	0.54	0.25	-	0.50	0.04	0.17	1.04	1.29	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-
全国	第40週	0.07	0.27	1.26	3.13	0.59	0.71	0.16	0.56	0.01	0.50	0.30	0.92	0.01	0.55	0.01	0.04	0.26	0.01	0.01	0.01	0.01	
	第41週	0.06	0.27	1.28	3.12	0.63	0.78	0.15	0.57	0.01	0.38	0.28	0.94	0.01	0.49	0.02	0.05	0.33	0.01	0.01	0.01		

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
無菌性髄膜炎	発熱(38.0) 髄膜炎	6	女	2014/09/07	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
川崎病	発熱(39.0) 紅斑 リンパ節腫脹	1	男	2014/09/04	咽頭拭い液	エコーウイルス30型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 肺炎	0	女	2014/09/08	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の消化器疾患	腸重積	1	男	2014/08/15	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	腹痛 腸重積	2	男	2014/08/17	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	腹痛 腸重積	1	男	2014/09/07	糞便	エコーウイルス11型
その他の発疹性疾患	発熱(39.0) 発疹	不明	女	2014/09/04	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(38.9)	0	女	2014/08/22	糞便 咽頭拭い液	エコーウイルス11型 ヒトヘルペスウイルス6型
その他の疾患	発熱(39.0) 熱性痙攣	2	男	2014/09/09	咽頭拭い液	RSウイルス
その他の疾患	意識障害 痙攣	5	女	2014/09/14	咽頭拭い液	ライノウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】デング熱の国内感染症例について

● 国内でデング熱に感染した人の居住地

都道府県名	東京都	埼玉県	神奈川県	千葉県	新潟県	大阪府	茨城県	山梨県	静岡県	北海道
症例数	104	14	13	7	3	3	2	2	2	1
都道府県名	青森県	岩手県	秋田県	群馬県	兵庫県	山口県	愛媛県	高知県	計	
症例数	1	1	1	1	1	1	1	1	159	

推定感染地は、東京都内の代々木公園周辺や新宿中央公園など146名、千葉市1名、兵庫県西宮市1名、不明11名です。10月10日に1名報告された以降は、新たに国内でデング熱に感染したことが確認された患者の報告はありません。

厚生労働省発表(2014年10月20日現在)に基づく

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第42週(10月13日~10月19日)